

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:宮崎県 日向土木事務所

事業の名称:日豊本線日向地区連続立体交差事業

実施都市名:宮崎県 日向市

事業目的

宮崎県日向市においては、市街地を東西に分断する形でJR日豊本線が通過しており、踏切による渋滞が慢性化していたことからまちの発展の大きな障害になっていました。

こうした状況を解消するため、鉄道を高架化し既存の踏切道の除却により、安全で円滑な都市交通の確保と分断化された地域の一体的な発展を図り、抜本的な都市構造の改変と中心市街地の活性化に寄与するものです。

事業概要

事業名：日豊本線日向地区連続立体交差事業

路線名：日豊本線

事業箇所：宮崎県 日向市

事業延長：1.67km

総事業費：7,843百万円

事業期間：平成10年度～平成20年度

本事業は、鉄道高架化により踏切を3箇所除却し、新たに交差道路として9路線の整備を図ることにより、交通渋滞の解消はもとより軌道により分断されていた市街地の一体化を図りました。

宮崎県の施行する本事業と連携して、日向市が施行する土地区画整理事業と民間が施行する特定商業集積事業をも組み合わせた、いわゆる「三位一体」での取り組みを行い、さらに市民発意によるイベント開催や官民協働のまち使い、まち育て等の取り組みを連携し、将来の都市を創造していく、総合的なまちづくりを目指すものです。

日豊本線日向地区連続立体交差事業の 整備効果アピール資料



踏切交通遮断量49,092台/日の解消



人びとの集う空間の創出

○事業概要

事業名：日豊本線日向地区連続立体交差事業
路線名：日豊本線
事業箇所：宮崎県 日向市
事業延長：1.67km
総事業費：7,843百万円
事業期間：平成10年度～平成20年度
実質高架化期間：H14.11～H18.12(4年間)



「整備効果」

- 踏切除却による市街地交通渋滞の緩和(49,092台/日からゼロ)
 - 高架化が日向のまちづくりへのインパクトとなり、都市の再生、賑わいの創出に大きく寄与
 - 駅舎に地元杉材を用いたことで、環境保全、林業の育成に寄与し、地域のシンボルとなった。
 - 高架化事業着工から高架切り替えまで実質4年の短期間で大きな事業効果を発揮した。
- 「その他の事業効果」
- 駅舎及び駅周辺の景観・デザインをまとめるにあたり公共空間のみならず民有空間まで市民の意見を反映できる場を設けることで、市民が積極的にまちづくりに関わりを持った。

事業前写真



平成16年撮影



高架化前市街地
踏切渋滞状況



事業後写真

平成22年2月撮影



平成21年8月撮影



平成21年8月撮影



平成21年4月撮影



平成18年12月撮影

